平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名　大倉工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4221　URL　http://www.okr-ind.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高浜　和則
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長　(氏名) 豊田　員史　TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	19,233	△8.6	438	△14.0	394	△0.7	122	△82.2
23年12月期第1四半期	21,050	14.4	510	38.9	396	38.2	686	19.9

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　524百万円　(△24.3%)　23年12月期第1四半期　692百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	2.00	―
23年12月期第1四半期	11.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	82,920	32,749	39.5
23年12月期	86,426	32,532	37.6

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　32,749百万円　23年12月期　32,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年12月期	―				
24年12月期(予想)		0.00	―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,500	△6.8	550	△63.5	350	△73.5	△350	―	△5.72
通期	83,500	△2.7	1,550	△36.4	1,200	△42.9	100	△93.6	1.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	62,074,351 株	23年12月期	62,074,351 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	872,808 株	23年12月期	870,139 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	61,202,610 株	23年12月期1Q	61,220,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速懸念や原油価格の上昇などの影響による先行き不透明感が依然として残っているものの、歴史的な円高の一服や東日本大震災からの復興需要への期待などに支えられ、緩やかに持ち直す動きが見られはじめました。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度に引き続き、細やかな拡販努力を重ねるとともに、生産効率の改善と固定費の削減に努めました。

しかし、建材事業におけるパーティクルボードのJIS認証取消しの影響などにより、当第１四半期連結累計期間の売上高は192億３千３百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は４億３千８百万円（前年同四半期比14.0%減）、経常利益は３億９千４百万円（前年同四半期比0.7%減）、四半期純利益は１億２千２百万円（前年同四半期比82.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

農業向け機能性マルチフィルムや乳酸飲料向けシュリンクフィルムなどの製品は販売数量が順調に推移しましたが、電子材料向け産業資材用フィルムや産業用及び食品向けラミネートフィルムの販売数量が減少しました。

この結果、売上高は117億８千８百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は８億８千１百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

〔新規材料事業〕

スマートフォンやタブレット端末向けの光学フィルムは販売数量が順調に推移しましたが、一部の光学フィルムの加工業務を取引先の商流変更に伴い縮小したため、売上高は大幅に減少しました。

この結果、売上高は44億円（前年同四半期比18.8%減）となりましたが、営業利益はスマートフォンなどの販売数量増加により３億５百万円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

〔建材事業〕

主力製品であるパーティクルボードは販売数量が順調に推移しておりましたが、２月29日のJIS認証取消しにより、３月度の販売数量が大幅に減少し、３月度の建材事業全体の売上高が前年同月に比べて半減した結果、売上高は18億５千４百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

営業損失は返品となった商品に加え、当該品に係る在庫も処分したため３億７千２百万円（前年同四半期比１億４千２百万円悪化）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び宅地造成及び建物建築事業が順調に売上を伸ばしました。

この結果、売上高は11億８千９百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は４千万円（前年同四半期比195.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ35億５百万円減少し829億２千万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少40億５千８百万円及び投資その他の資産など固定資産の増加５億５千３百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、支払手形及び買掛金など流動負債の減少31億４千２百万円、長期借入金など固定負債の減少５億８千万円により、前連結会計年度末に比べ37億２千２百万円減少し501億７千万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の増加４億１百万円などにより、前連結会計年度末に比べ２億１千７百万円増加し、327億４千９百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.9ポイント上昇し、39.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第１四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、見直しを行なった結果、平成24年２月17日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年５月14日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,780	6,522
受取手形及び売掛金	24,935	21,844
商品及び製品	4,635	4,914
仕掛品	648	758
原材料及び貯蔵品	2,913	3,221
販売用不動産	128	156
繰延税金資産	561	426
その他	1,261	941
貸倒引当金	△39	△18
流動資産合計	42,826	38,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,633	17,878
機械装置及び運搬具（純額）	9,963	10,038
土地	6,983	6,983
建設仮勘定	1,898	1,103
その他（純額）	636	608
有形固定資産合計	37,115	36,613
無形固定資産	181	175
投資その他の資産		
投資有価証券	5,140	5,861
繰延税金資産	306	125
その他	933	1,444
貸倒引当金	△76	△65
投資その他の資産合計	6,302	7,365
固定資産合計	43,600	44,153
資産合計	86,426	82,920

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,428	15,569
短期借入金	10,765	10,110
1年内返済予定の長期借入金	2,507	2,363
リース債務	649	654
未払法人税等	191	130
設備関係支払手形	706	357
賞与引当金	―	578
建物等除却損失引当金	119	86
その他	5,744	5,119
流動負債合計	38,112	34,970
固定負債		
長期借入金	9,400	8,973
リース債務	2,626	2,460
退職給付引当金	2,543	2,552
役員退職慰労引当金	252	259
その他	959	955
固定負債合計	15,781	15,200
負債合計	53,893	50,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	15,071	14,887
自己株式	△416	△417
株主資本合計	32,343	32,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	591
その他の包括利益累計額合計	189	591
純資産合計	32,532	32,749
負債純資産合計	86,426	82,920

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	21,050	19,233
売上原価	18,250	16,530
売上総利益	2,799	2,702
販売費及び一般管理費		
販売手数料	20	24
運送費及び保管費	682	634
給料	491	520
賞与引当金繰入額	152	154
役員報酬	74	69
退職給付費用	37	41
役員退職慰労引当金繰入額	9	9
減価償却費	30	32
研究開発費	300	291
貸倒引当金繰入額	3	△25
その他	485	511
販売費及び一般管理費合計	2,289	2,264
営業利益	510	438
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	2
為替差益	2	55
雑収入	35	32
営業外収益合計	41	91
営業外費用		
支払利息	121	111
債権売却損	9	8
雑損失	23	16
営業外費用合計	155	136
経常利益	396	394
特別利益		
貸倒引当金戻入額	181	－
保証債務戻入額	23	－
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	205	1
特別損失		
固定資産除売却損	10	9
投資有価証券評価損	25	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	－
特別損失合計	44	9
税金等調整前四半期純利益	557	386
法人税、住民税及び事業税	100	115
法人税等調整額	△229	148
法人税等合計	△129	264
少数株主損益調整前四半期純利益	686	122
四半期純利益	686	122

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	686	122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	401
その他の包括利益合計	5	401
四半期包括利益	692	524
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	692	524
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年３月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,389	5,420	2,189	19,999	1,050	21,050	―	21,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	―	1	123	124	△ 124	―
計	12,391	5,420	2,189	20,001	1,173	21,174	△ 124	21,050
セグメント利益又はセグメント損失(△)	957	165	△ 230	891	13	905	△ 395	510

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△395百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,788	4,400	1,854	18,043	1,189	19,233	―	19,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	―	―	0	119	121	△ 121	―
計	11,789	4,400	1,854	18,044	1,309	19,354	△ 121	19,233
セグメント利益又はセグメント損失(△)	881	305	△ 372	813	40	854	△ 415	438

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△415百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。